



株主メモ

- 決算期 毎年3月末日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722
- 電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

■ 公告掲載紙 日本経済新聞

■ 決算公告のホームページのご案内

当会社の決算公告は、定款紙による決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ (<http://www.central-uni.co.jp>) に掲載することとしましたので、こちらでご覧いただけます。

単元未満株式の買増制度の導入について

単元未満株式を有する株主様は、当社に対しその単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を買増請求することができることとなります。お手続きなどの詳細につきましては名義書換代理人あてご照会ください。なお、保管振替制度ご利用の株主様はお取引証券会社あてご照会ください。

第55期

事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



ごあいさつ



contents

2. 3. ごあいさつ
4. 5. 営業の概況(連結)
6. 7. セントラルユニグループのご紹介
8. 9. 経営成績及び財政状態ハイライト
10. 貸借対照表(連結)
11. 損益計算書、剰余金計算書、キャッシュ・フロー計算書(連結)
12. 貸借対照表(単独)
13. 損益計算書、利益処分(単独)
14. 会社概況
15. トピックス



代表取締役社長
西坂 崇

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社平成16年度（第55期）の事業報告書をお届けするにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。

この度、私は第55回定時株主総会後の取締役会において、代表取締役社長に就任いたしました。

当社グループは長年にわたり、医療環境のシステム構築、コンサルティング業務、機能性と効率性を追求したハード・ソフト及びファシリティサービスの提供を通じて、より良い医療・健康・福祉環境づくりに貢献してまいりました。

近年では、病院経営の効率化、安全性の追求、より高度な治療環境に対するニーズが高まっております。経営環境がめまぐるしく変化するなかで当社グループを成長・発展させていくことが私の職責だと考えております。そのためにも、スピード感をもって決断と実行を積み重ね、挑戦し続ける経営を行ってまいります。

新しい経営体制のもとでの当社グループの最重要課題は、医療環境のニーズに素早く対応できるグループ経営体制の構築です。効率的かつ有効な経営資源の活用を進めながら、グループ共通の経営ビジョン・目標の策定、組織の見直し、業績評価手法の確立等の重要かつ緊急の課題に対処することで、改革を進めてまいります所存でございます。

これからも、医療環境に「安全と安心」を提供し続け、医療の発展に貢献することを通じ、社会に貢献してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



営業の概況（連結）

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

■企業集団の営業の経過及び成果

当営業年度におけるわが国の経済は、公共投資は総じて低調でしたが、デフレ懸念の後退などから、民間設備投資の増加や輸出の好調に支えられ、個人消費も緩やかながら持ち直し、着実な景気回復の動きがみられました。

しかしながら、先行きへの不安感を完全に払拭するには至らず、当社が関連する医療設備業界においても公共投資の減少などを受け、国内企業間の厳しい競争が続きました。

このような状況のもと、医療を取巻く環境は、厚生労働省が安心で質の高い医療提供体制の充実のため、医療安全対策の総合的推進、救急医療の充実などに取り組む方針を示しております。また、急性期医療における診断群分類別包括評価（DPC）による定額払いが導入され始めており、病院の経営効率化への意識が高まっております。

このような環境を踏まえ当社グループは、高度医療を担う急性期病院の建て替え、リニューアル市場へ向け、積極的な営業展開を行いました。国、地方公共団体の公的予算の削減による病院設備投資の抑制及び建設業界の競争激化による受注単価の下落などの影響を受け、売上高は167億4百万円（前期比0.9%減）となりました。利益におきましては、原価低減及び全社的な販売管理費削減に注力いたしましたが、利益率の低下により売上総利益が減少し、営業利益2億42百万円（前期比52.2%減）、経常利益

2億95百万円（前期比42.5%減）、当期純利益81百万円（前期比58.0%減）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。

（医療設備）

国、地方公共団体の公的予算の削減、競争激化による受注単価の下落などの影響を受け、ICUウォール、手術室の設備工事及び製品等が減少し、売上高は87億91百万円（前期比1.0%減）となりました。

（病院内機器）

注射薬自動払出装置等をはじめとする経営効率化機器の販売に注力いたしましたが、厨房設備、院内感染防止機器等が減少し、売上高は21億35百万円（前期比13.9%減）となりました。

（受託業務）

病院内の物流管理システムの受託、医療設備保守点検及び注射薬自動払出装置の保守点検は順調に推移し、売上高は45億1百万円（前期比5.5%増）となりました。

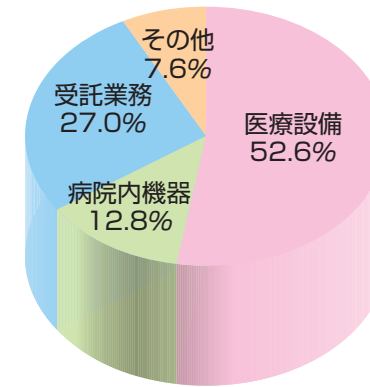
（その他）

診療材料等の販売が寄与し、売上高は12億76百万円（前期比3.7%増）となりました。

なお、当営業年度末の受注残高は、67億76百万円となりました。

その他、生産・技術・営業・管理において情報を一元化することで、社内の業務効率化をはかる社内情報化整備の本格稼動のために、全社をあげて取り組みました。

品目別売上高構成比



| 品目別区分 | 第55期 平成17年3月期 | |
|--------|------------------|--------|
| | 売上高(千円) | 前期比(%) |
| 医療設備 | | |
| 医療設備工事 | 6,105,757 | + 1.0 |
| 医療設備製品 | 2,685,890 | △ 5.4 |
| 小計 | 8,791,648 | △ 1.0 |
| 病院内機器 | 2,135,205 | △ 13.9 |
| 受託業務 | | |
| 物流管理 | 3,036,370 | + 5.3 |
| 医療設備保守 | 1,465,252 | + 6.0 |
| 小計 | 4,501,623 | + 5.5 |
| その他 | 1,276,444 | + 3.7 |
| 合計 | 16,704,921 | △ 0.9 |

■会社が対処すべき課題

当社グループは、「効率化支援と機能性の追求」「安全と安心の提供」「高度医療における治療環境づくり」をテーマに、医療機関へトータル・ソリューションを提供しつづけていくことが、使命であると考えております。平成18年3月期は、グループ会社の相乗効果、さらには他社との連携をはかり、着実に施策を実行してまいります。

また、あらゆる部門での徹底したコストダウン、効率化などにより経営体質の強化に全社一丸となり努力していく所存でございます。

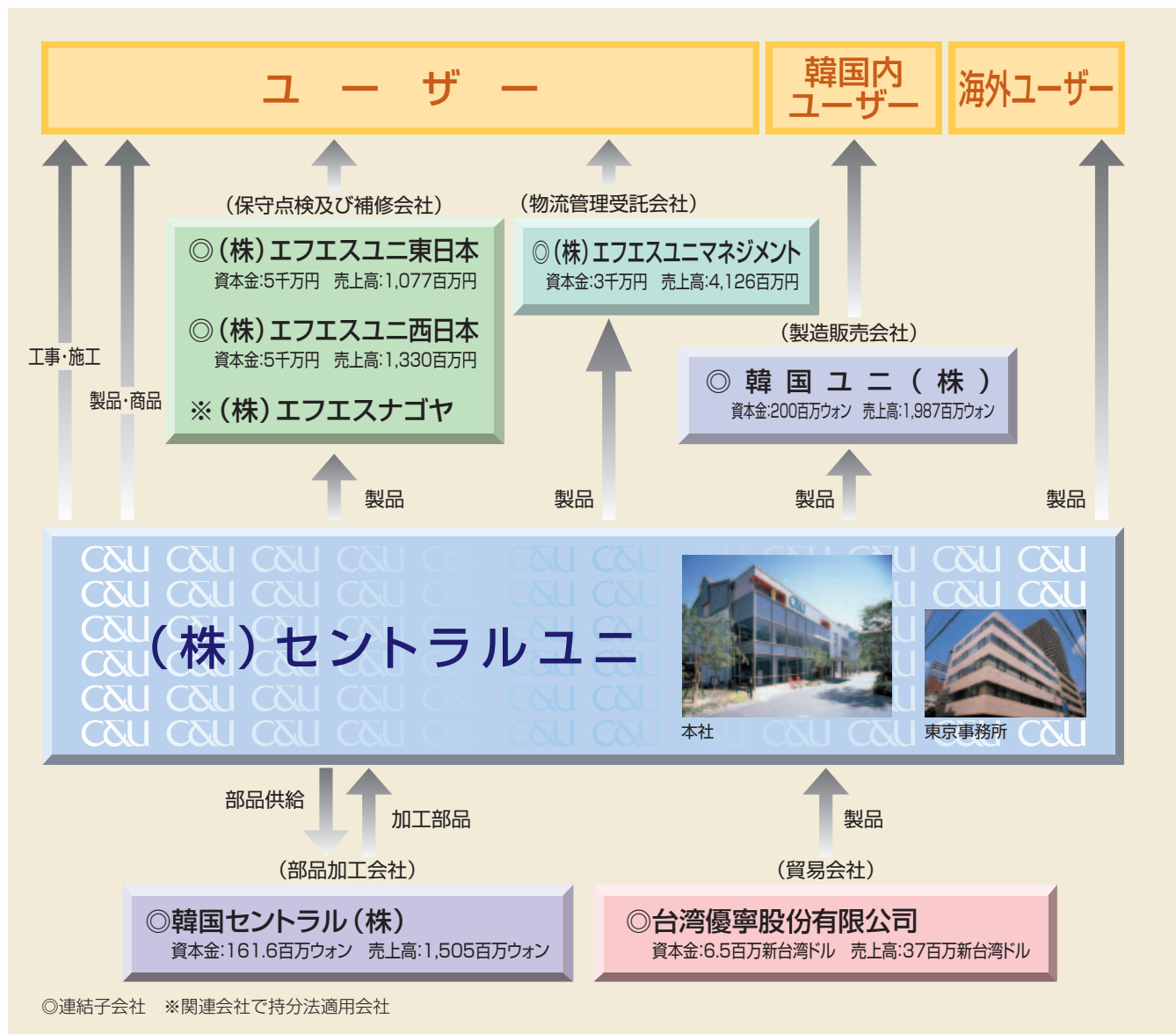
第56期からコア事業の商品開発を迅速に実行するために設計開発部を新設いたしました。医療現場のニーズに適時・的確に応えた開発を行うことで高付加価値の製品をタイムリーにマーケットへ提供することを目指してまいります。

なお、平成18年3月期の連結業績予想につきましては、次のとおりです。

| 連結損益 | 第55期 | 第56期 | 前期比 |
|---------------|-------------------------|-------------------------|--------|
| | 平成17年3月期 実績 (百万円) | 平成18年3月期 予想 (百万円) | |
| 売上高 | 16,704 | 16,960 | + 1.5 |
| 営業利益 | 242 | 305 | + 26.0 |
| 経常利益 | 295 | 330 | + 11.9 |
| 当期純利益 | 81 | 140 | + 72.8 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 5.70 | 10.48 | |



セントラルユニグループのご紹介



◎(株)エフエスユニ東日本
◎(株)エフエスユニ西日本
※(株)エフエスナゴヤ

医療設備のメンテナンス業務及び手術室、集中治療室などの消毒業務を行っております。治療環境における機能の維持とクリーンな環境づくりを目指し、緊急時にも迅速に対応できるような地域に密着した活動を進めております。

経営の効率化、合理化をはかり、さらに安全と安心を追求し、保全予防を活かしたファシリティサービスの提供を目指してまいります。



(株)エフエスユニ西日本・本社



(株)エフエスユニ東日本・本社

◎韓国セントラル(株)

セントラルユニの海外工場です。医療設備部品の加工・組立を行い、半製品の状態で日本(セントラルユニ)へ輸出しております。

(注) 売上高は平成17年3月期実績となっております。

◎(株)エフエスユニマネジメント

セントラルユニが開発したSPD構想による物流管理システムの運営を病院から受託しています。医薬品・診療材料等の在庫、搬送、供給などを合理的、効率的に業務管理する事業で現在全国56病院と受託契約しております。

また、病院情報システムにリンクした、医薬品・診療材料等の効率的な管理と個別原価把握を可能にした電子収納庫(ユニ・オムニセル)を販売しております。病院経営の効率化に対するサプライチェーンマネジメントの構築をとらえ、積極的に営業を行っております。

◎台湾優寧股份有限公司

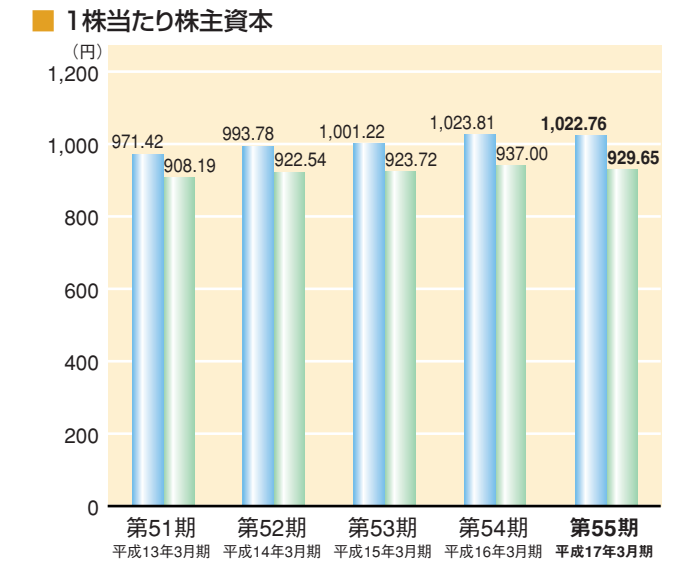
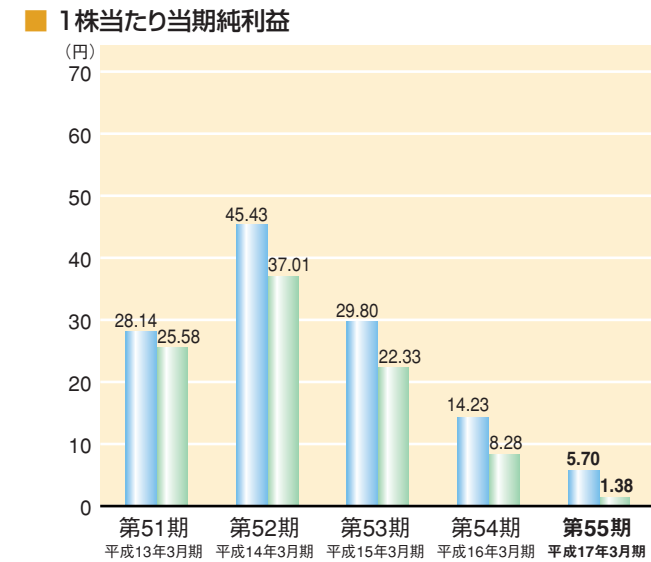
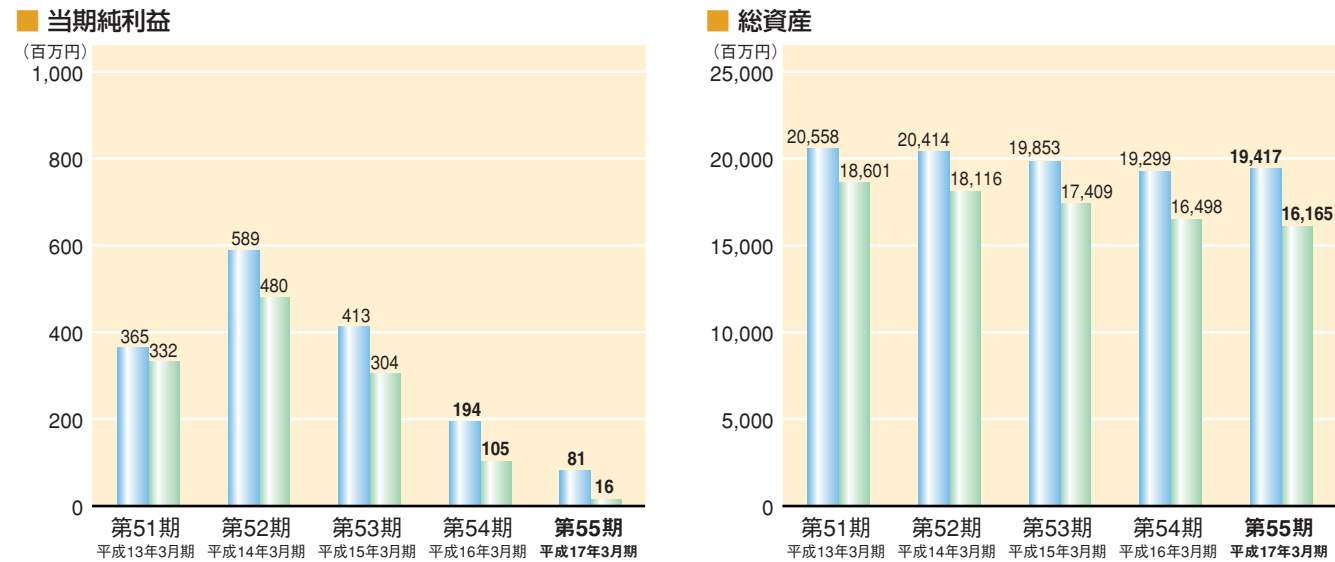
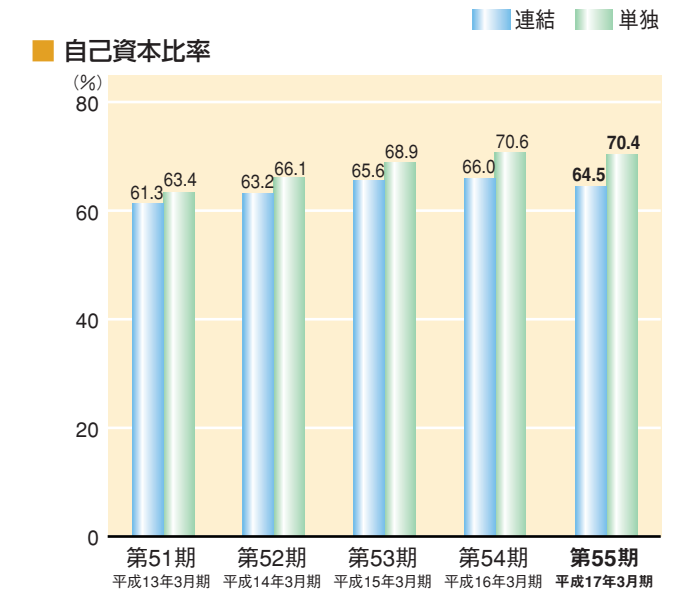
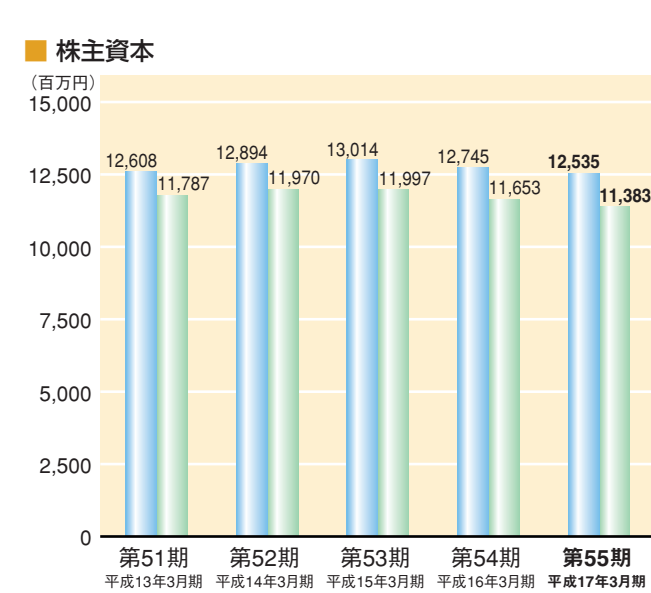
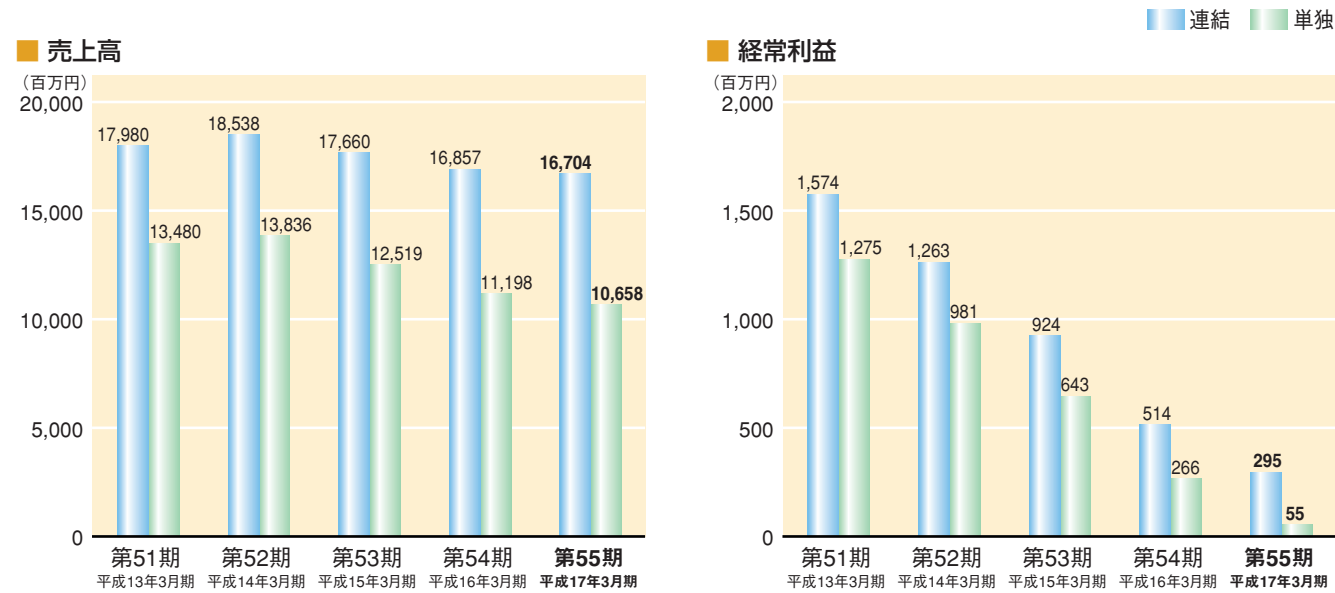
医療設備関連のコスト削減をはかるため、国外調達拠点として設立いたしました。海外市場での価格競争力を強めてまいります。

◎韓国ユニ(株)

韓国内の営業拠点です。医療設備機器の製造及び販売の事業展開をしております。



経営成績及び財政状態ハイライト



貸借対照表(連結)

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|------------------------|-------------------|-------------------|
| ■資産の部 | | |
| 流動資産 | 14,108,523 | 13,882,891 |
| 現金及び預金 | 4,500,220 | 4,087,362 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,168,697 | 5,980,058 |
| 有価証券 | 8,711 | 12,672 |
| たな卸資産 | 2,479,501 | 2,705,385 |
| 繰延税金資産 | 165,622 | 106,519 |
| その他の債権 | 801,489 | 996,783 |
| 貸倒引当金 | △15,720 | △5,889 |
| 固定資産 | 5,187,867 | 5,527,287 |
| 有形固定資産 | 3,921,860 | 3,715,800 |
| 建物及び構築物 | 1,714,577 | 1,596,703 |
| 工具器具及び備品 | 214,320 | 215,379 |
| 土地 | 1,890,799 | 1,886,139 |
| 建設仮勘定 | 75,720 | — |
| その他 | 26,442 | 17,578 |
| 無形固定資産 | 123,231 | 282,954 |
| 投資その他の資産 | 1,142,775 | 1,528,532 |
| 繰延資産 | 2,666 | 6,925 |
| 資産合計 | 19,299,057 | 19,417,104 |
| ■負債の部 | | |
| 流動負債 | 4,787,666 | 5,117,709 |
| 支払手形及び買掛金 | 3,329,062 | 3,332,755 |
| 短期借入金 | 366,000 | 445,560 |
| 一年以上以内償還予定の社債 | 75,000 | 125,000 |
| その他の負債 | 1,017,604 | 1,214,393 |
| 固定負債 | 1,690,405 | 1,670,821 |
| 社債 | 125,000 | 250,000 |
| 長期借入金 | 660,000 | 580,000 |
| 退職給付引当金 | 884,111 | 822,326 |
| その他の負債 | 21,294 | 18,494 |
| 負債合計 | 6,478,072 | 6,788,530 |
| 少数株主持分 | 75,046 | 92,628 |
| 少数株主持分 | 75,046 | 92,628 |
| ■資本の部 | | |
| 資本金 | 1,707,000 | 1,707,000 |
| 資本剰余金 | 2,863,061 | 2,863,065 |
| 利益剰余金 | 8,450,610 | 8,332,872 |
| その他有価証券評価差額金 | 16,443 | 38,440 |
| 為替換算調整勘定 | △20,144 | △12,610 |
| 自己株式 | △271,034 | △392,822 |
| 資本合計 | 12,745,937 | 12,535,945 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 19,299,057 | 19,417,104 |

POINT

長期性預金への預け入れ及び自己株式の取得等を行いました。

POINT

昨年取得した東京事務所及びメンテナンス子会社の社屋の減価償却のため減少いたしました。

POINT

社内情報システムの稼働により増加いたしました。

POINT

物流管理受託会社の業務拡大のため社債を発行いたしました。

損益計算書、剰余金計算書、キャッシュ・フロー計算書(連結)

■損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|--------------|---------------|---------------|
| 売上高 | 16,857,574 | 16,704,921 |
| 売上原価 | 11,658,504 | 12,006,943 |
| 売上総利益 | 5,199,069 | 4,697,978 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,691,763 | 4,455,295 |
| 営業利益 | 507,305 | 242,682 |
| 営業外収益 | 56,101 | 82,178 |
| 営業外費用 | 49,340 | 29,359 |
| 経常利益 | 514,066 | 295,501 |
| 特別利益 | 737 | 13,441 |
| 特別損失 | 38,909 | 2,275 |
| 税金等調整前当期純利益 | 475,894 | 306,666 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 331,235 | 138,169 |
| 法人税等調整額 | △55,284 | 79,961 |
| 少数株主利益 | 5,476 | 6,780 |
| 当期純利益 | 194,467 | 81,755 |

POINT

抜本的に販売費及び一般管理費を見直し削減に注力いたしました。

■剰余金計算書

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| ■資本剰余金の部 | | |
| 資本剰余金期首残高 | 2,863,061 | 2,863,061 |
| 資本剰余金増加高 | — | 3 |
| 資本剰余金期末残高 | 2,863,061 | 2,863,065 |
| ■利益剰余金の部 | | |
| 利益剰余金期首残高 | 8,477,512 | 8,450,610 |
| 利益剰余金増加高 | 194,467 | 81,755 |
| 利益剰余金減少高 | 221,368 | 199,493 |
| 利益剰余金期末残高 | 8,450,610 | 8,332,872 |

■キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|------------------|---------------|---------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 578,221 | 190,696 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,438,121 | △768,841 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 494,319 | △142,552 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △586 | 3,688 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △366,166 | △717,009 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,829,582 | 4,463,415 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,463,415 | 3,746,406 |

貸借対照表(単独)

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|----------------|-------------------|-------------------|
| ■資産の部 | | |
| 流動資産 | 11,409,401 | 10,749,106 |
| 現金及び預金 | 3,519,326 | 3,112,567 |
| 受取手形 | 1,962,121 | 1,790,735 |
| 売掛金 | 1,580,959 | 1,508,624 |
| 完成工事未収入金 | 1,378,697 | 1,433,117 |
| たな卸資産 | 2,137,528 | 2,001,763 |
| 繰延税金資産 | 98,436 | 71,772 |
| その他の資産 | 748,631 | 838,025 |
| 貸倒引当金 | △16,300 | △7,500 |
| 固定資産 | 5,089,250 | 5,416,650 |
| 有形固定資産 | 3,840,756 | 3,623,553 |
| 建物及び構築物 | 1,698,125 | 1,580,437 |
| 土地 | 1,890,799 | 1,886,139 |
| その他の | 251,832 | 156,977 |
| 無形固定資産 | 15,657 | 180,812 |
| 投資その他の資産 | 1,232,836 | 1,612,284 |
| 繰延税金資産 | 288,575 | 261,059 |
| その他の | 944,260 | 1,351,224 |
| 資産合計 | 16,498,652 | 16,165,756 |
| ■負債の部 | | |
| 流動負債 | 3,459,817 | 3,535,729 |
| 支払手形 | 493,323 | 498,532 |
| 買掛金 | 1,467,234 | 1,477,360 |
| 工事未払金 | 846,961 | 856,356 |
| 短期借入金 | 80,000 | 80,000 |
| 未成工事受入 | 106,474 | 260,301 |
| その他の | 465,824 | 363,178 |
| 固定負債 | 1,385,488 | 1,246,048 |
| 長期借入金 | 660,000 | 580,000 |
| 退職給付引当金 | 704,194 | 647,554 |
| その他の | 21,294 | 18,494 |
| 負債合計 | 4,845,305 | 4,781,777 |
| ■資本の部 | | |
| 資本 | 1,707,000 | 1,707,000 |
| 資本剰余金 | 2,863,061 | 2,863,065 |
| 利益剰余金 | 7,337,875 | 7,168,295 |
| 利益準備金 | 243,000 | 243,000 |
| 任意積立金 | 6,300,000 | 6,300,000 |
| 当期未処分利益 | 794,875 | 625,295 |
| 株式等評価差額金 | 16,443 | 38,440 |
| 自己株式 | △271,034 | △392,822 |
| 資本合計 | 11,653,347 | 11,383,978 |
| 負債・資本合計 | 16,498,652 | 16,165,756 |

POINT
売上高の減少に伴い減少いたしました。

POINT
長期性預金に預入れいたしました。

POINT
借入金を返済いたしました。

POINT
平成17年3月期は191,400株(122,895千円)取得いたしました。現在取得しております自己株式(平成17年3月期末現在733,690株)につきましては、ストックオプション、事業再編等に積極的に活用していきたいと考えております。

損益計算書、利益処分(単独)

(単位：千円)

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|----------------|---------------|---------------|
| ■損益計算書 | | |
| 経常損益の部 | | |
| 営業損益の部 | | |
| 売上高 | 11,198,268 | 10,658,234 |
| 売上原価 | 7,593,268 | 7,588,913 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,398,486 | 3,080,179 |
| 営業利益 | 206,513 | △10,859 |
| 営業外損益の部 | | |
| 営業外収益 | 97,541 | 107,357 |
| 営業外費用 | 37,864 | 41,367 |
| 経常利益 | 266,189 | 55,130 |
| 特別損益の部 | | |
| 特別利益 | — | 13,441 |
| 特別損失 | 28,268 | 1,803 |
| 税引前当期純利益 | 237,921 | 66,768 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 164,330 | 10,526 |
| 法人税等調整額 | △32,077 | 39,269 |
| 当期純利益 | 105,668 | 16,972 |
| 前期繰越利益 | 689,207 | 608,322 |
| 当期末処分利益 | 794,875 | 625,295 |

POINT
競争が激しさを増し、売上総利益率が減少いたしました。

POINT
売上総利益額の減少に備え、期首から販売費及び一般管理費の削減を行いましたが、売上総利益の減少を吸収するまでには至りませんでした。

| 科目 | 第54期・平成16年3月期 | 第55期・平成17年3月期 |
|------------------|---------------|---------------|
| ■利益処分 | | |
| 当期末処分利益 | 794,875 | 625,295 |
| これを次のとおり処分いたします。 | | |
| 利益配当金 | 186,553 | 122,455 |
| 計 | 186,553 | 122,455 |
| 次期繰越利益 | 608,322 | 502,840 |

POINT
第55期は、1株当たり年間10円を配当いたしました。今後の配当方針といたしましては、配当性向(当期純利益に対し)30%もしくは最低10円を基本方針といたします。また、当社は、自己株式の取得も適宜実施し、経営環境の変化に対応しながら資本効率の向上をはかっております。

会社概況

株式の状況 (平成17年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数
.....20,000,000株
- 発行済株式総数
.....12,979,200株
- 1単元の株式数
.....1,000株
- 株主数
.....710名
(前期末比 188名減)

■ 大株主

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---|----------|----------|
| | 持株数(株) | 議決権比率(%) |
| 増田 貞 満 | 878,620 | 7.21 |
| ユービーエス セキュリティーズ エルエルシー カスタマー セグリティッド アカウント | 834,000 | 6.85 |
| 荒井 範 雄 | 786,940 | 6.46 |
| 荒井 精 一 | 622,440 | 5.11 |
| 株式会社みずほ銀行 | 585,000 | 4.81 |
| セントラルユニ従業員持株会 | 580,300 | 4.77 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 580,000 | 4.77 |
| シーエスエフピー ユーロ ピーピー クライアント エスエフピー ブイエル | 438,000 | 3.60 |
| 第一生命保険相互会社 | 402,000 | 3.30 |
| 株式会社福岡銀行 | 397,600 | 3.26 |

(注) 当社は、自己株式733,690株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

会社の概要 (平成17年3月31日現在)

- 設立
昭和26年9月
- 主要な事業内容 (連結)

| 品目別区分 | 主要品目 |
|-------|--|
| 医療設備 | 医療設備工事 医療用ガス供給設備工事、手術室関連設備工事、ICUウォール工事、病室用ウォール工事 |
| | 医療設備製品 湿潤器、吸引器、医療ガス供給設備製品、手術室関連設備製品、ICUウォール製品、病院用ウォール製品 |
| 病院内機器 | 物品管理システム、フードサービス管理システム、ディスインフェクター、注射薬自動払出装置、ユニ・オムニセル |
| 受託業務 | 物流管理 医療用消耗品の搬送及び在庫管理受託業務 |
| | 医療設備保守 医療設備保守受託業務 |
| その他 | サインシステム、ガス滅菌器 (アンプロレン)、福祉・介護関連商品 |

■ 従業員

| | 従業員数 | 前期末比増減 |
|----|-------------|-------------|
| 連結 | 776名 (553名) | 4名増 (138名増) |
| 単独 | 204名 (22名) | 17名減 (9名増) |

・従業員数は就業人員であり、臨時雇用者は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

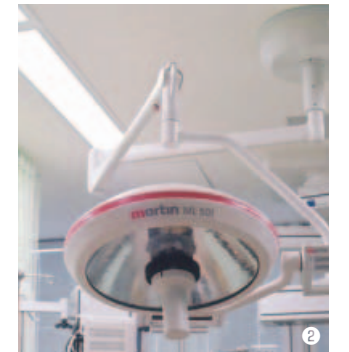
トピックス

当社は病院の経営効率化支援、安全性の向上及び高度な治療を行う環境づくりを行っております。

癌研有明病院殿 (東京都江東区)

集中治療室 (①インケアポート②無影灯)

重篤な患者を収容し、24時間体制で治療、看護、監視の機能を維持しなければならない高濃度医療領域において速やかに対応できる治療環境・空間を提案します。医用電気や医療ガスの確実な供給など、安全性の面からも充分に考慮された領域全体のプランを構築しております。



高知医療センター殿 (高知県高知市)

③注射薬自動払出装置 (オートアンプルディスペンサー)

病棟で入力された注射箋情報を、通信ネットワークを通じて装置のシステムに取り込むことにより、注射薬の患者別/施設別セットアップを自動的に行います。これにより薬剤師業務の効率化や取り揃えミス防止など大きな効果が期待できます。



④院内感染防止機器 (ウォッシャーディスインフェクター)

汚染器材・器具を自動的に洗浄・消毒し、医療スタッフが汚染物に接触する機会が少なくなるため、安全性の向上につながり、院内感染防止にも役立っております。

⑤経営効率化機器

(ハイキャビネット・準備作業テーブル)

院内における診料材料等を物流管理することにより、在庫量の削減、購入量の適正化といった経済的な効果や治療現場における物品管理業務負担の軽減など多くのメリットが期待できます。

